細部までじっくりと観察しながら描きました

動物画家　藪内正幸絵本原画展関連イベント

じっくりよく見て動物を描こう

8/18　不知火美術館アトリエで、ワークショップ「はく製を見ながら動物画を描こう」が県立宇土中高の森内和久教諭を講師に開催され、小学生など15人が参加しました。参加者は、ニホンカモシカなどの剝製5点を間近に見ながら、思い思いの画材を使い、熱心に描いていました。田上知代乃さん（小野部田小4年）は「カモシカとフクロウとリスを描いて、上手にできた」と、はにかんでいました。

バイクからランにバトンタッチ

第23回ちびっこトライアスロン in とよの

小さな鉄人　オリンピック種目に挑戦

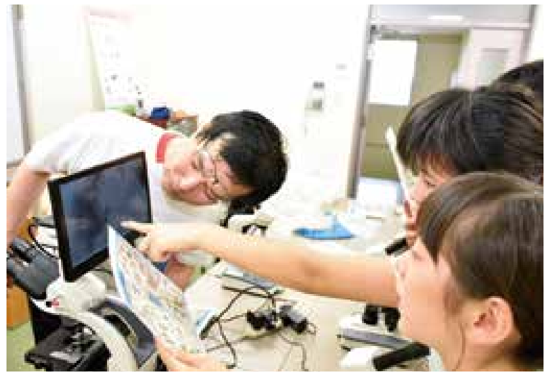
8/18　旧豊野小学校周辺を会場にちびっこトライアスロン in とよのが開催され、県内外から小学生123人が参加。個人の部とリレーの部に分かれ、スイム・バイク・ランに挑戦しました。個人の部では、大人顔負けの体力で全員が3種目をこなしました。リレーの部に参加した田端美子さん（三角小5年）は「初めて参加した。200m 泳いできつかったけど楽しかった」と競技を振り返りました。

全ては市民の安全のために

宇城広域連合消防本部の隊員が全国消防救助技術大会出場

磨き上げた救助技術で日本一を

8/20　全国消防救助技術大会（岡山県）に出場の宇城広域連合消防本部の消防隊員5人が、守田憲史市長を訪問しました。5人は、塔から降りて要救助者を担ぎ、塔の上まで引き揚げるタイムと救助の正確さを競う引揚救助に出場。同本部がこの部門で全国大会に出場するのは11年ぶり。隊長の山本弘樹さん（27）は「年間通して厳しい訓練を続けてきた。必ず優勝します」と力強く宣言しました。



この生き物は何かな？

松橋町久具区で田んぼの周りの生き物と微生物調査

川の中にはどんな生物がいるのかな

8/20　松橋町久具区の旧大野川周辺で、児童23人が参加して田んぼの周りの生き物と微生物の調査が行われました。久具地域資源保全隊が毎年開催。児童は松橋高サイエンス部の先生や生徒と一緒に専用の網で川の水をすくって生き物を捕まえ、低学年は目視で、高学年は顕微鏡でそれぞれ観察しました。参加した西千胡莉さん（当尾小6年）は「ミジンコが見られたのが面白かった」と話していました。

宇城市舗装工事業組合が社会貢献活動

道路を守ることは命を守ること

7/27　小川町中小野地区で、宇城市舗装工事業組合の会員18人が参加して小野部田幹線道路の補修修繕を行いました。これは同組合が社会貢献活動の一環として毎年行っているものです。この日は、道路のアスファルト舗装が痛んでいる部分を補修。吉田卓也組合長は「舗装業者として、道路の維持管理を行い道路を守ることも1つの使命。地域貢献につながれば」と活動の意義を話しました。

猛暑の中、丁寧な補修作業

第24回不知火海伝馬船競漕大会

真夏の海で伝馬船が競い合う

8/4　不知火町の松合新港で不知火海伝馬船競漕大会が開催されました。最高気温が37度を超え猛暑日となったこの日、5〜7人1組で競う手漕ぎの部と、2人1組で競う櫓漕ぎの部に、市内外から47チームが参加しました。 小学生の部では2チームが抜け出して、ゴール前まで勝敗が分からない大接戦。タッチの差で「竜燈太鼓スリー」チームが優勝し、大きな拍手が送られていました。

全力でゴールしてガッツポーズ

不知火地区漁業士会が漁業体験を開催

地引き網を引いて「大物、とったどー！」

8/17　三角町の若宮海水浴場で漁業体験教室が開かれ、三角小の児童ら約100人が参加しました。不知火地区漁業士会が魚食文化を身近に体験してもらおうと毎年開催。子どもたちが力を合わせて網を引くと、コノシロやコウイカなどが次々と揚がり、子どもたちから歓声が上がっていました。6年生の一村壱光さんは「初めて網を引いた。大きなエイやボラがいたので驚いた」と笑顔を見せました。

みんなで力を合わせて引きました

市と公共交通活性化協議会が実施のイベント

遊びながら楽しくバスを学んだよ

8/17〜25　公共交通に興味を持ってもらおうと、中央図書館を会場にバスをテーマにしたイベントが開かれました。普段は見られないバス内部の設備を運転士が中を開けて説明する「バス大解剖」をはじめ、パズルやすごろくなどが行われ、小学生や親子連れでにぎわいました。参加した谷龍星さん（9）と東蓮さん（7）は「とまりますボタンをたくさん押すことができてうれしかった」と喜んでいました。

運転士さんの帽子をかぶって「しゅっぱつ　しんこー！」